



Copyright © 2019 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. [OpenRules モジュール 2017 Summer からの変更点](#)
- 4. 機能
- 5. システム要件
- 6. 検証済み環境
- 7. サードパーティ ライセンス一覧
- 8. 制限事項
- 9. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年月

日 変更内容

2019-04- 初版
01

2023-04- 第2版 下記を追加・変更しました

01 ■ 「システム要件」の「ライセンス要件」の内容を変更

2023-10- 第3版 下記を追加・変更しました

31 ■ 「システム要件」の「ライセンス要件」にカスタマーサクセスライセンス向けの Advance Edition に関する記述を追加

はじめに

本書の目的

本書ではOpenRulesをintra-martで利用するためのモジュールのリリース内容について記載されています。

なお、OpenRules製品本体のリリースについては、OpenRulesのリリースノートをご確認ください。

製品の利用対象

次の利用者を対象としています。

ルールエンジンを使用し、システムを構築される方

OpenRules モジュール 2017 Summer からの変更点

設定ファイル

- 変更はありません。

システム要件

- サポートバージョン
 - OpenRules のバージョンを 7.0.0 に変更しました。
- intra-mart Accel Platform
 - 変更はありません。
- クライアント要件
 - 変更はありません。

制限事項

- 変更はありません。

機能

- 本モジュールは、OpenRules社のOpenRulesの機能のうち、intra-mart Accel Platform上で動作検証したもののみを、ユーザモジュール形式(imm)で提供します。
モジュールに含まれるOpenRulesの機能は以下の通りです。

コラム

OpenRules、IM-BISのセットアップについては、以下のドキュメントを参照してください。

- 「IM-BIS セットアップガイド」 - 「OpenRulesの利用」
- 「OpenRulesモジュール セットアップガイド」 - 「OpenRules モジュールの追加」
(「プロダクトファイルダウンロード」から「OpenRulesモジュール セットアップガイド」をダウンロードするにはライセンスキーが必要です。)

Rule Engine

機能	機能概要
Rule Engine	定義したルールを実行することができます。 IM-BIS for Accel Platformとの連携モジュールを利用すると、データマッパー経由で値の受け渡しが可能です。

Rule Solver

機能	機能概要
Rule Solver	定義したルールを実行することができます。 Rule Engineと異なりルールの順序を自動的に解決することができます。 IM-BIS for Accel Platformとの連携モジュールを利用すると、データマッパー経由で値の受け渡しが可能です。

intra-mart Accel Platform 連携機能

機能	機能概要
データソース定義 (ルール)	OpenRulesで定義したビジネスルールを登録し、IM-BIS、IM-FormaDesignerで作成したフォーム上で利用できるようにするための機能です。

機能	機能概要
ルール実行履歴レポート	OpenRulesを実行した際の実行履歴レポートを取得するための機能です。

i コラム

以前よりご提供しておりました、OpenRules機能強化モジュールは、IM-BIS/OpenRulesコネクタをIM-BISへ移管したため、2014Springより廃止しました。各モジュールの関係は以下の通りです。

- ①IM-BIS/OpenRulesコネクタ8.0.x (2014Spring以降。im-Juggling より入手)
IM-BISとOpenRulesをつなぐコネクタ。
- ②OpenRulesモジュール (2014Spring以降。immファイル。*1)
OpenRules本体。OpenRules社で開発された製品のみ含まれる。
- ③OpenRules機能強化モジュール8.0.x (2013Winterまで。immファイル。*1)
2014Springより廃止。上記コネクタとOpenRules本体が同梱されたもの。

*1 immファイルは「[プロダクトファイルダウンロード](#)」より入手できます。ダウンロードにはライセンスキーが必要です。

BISのバージョンと必要なモジュールの関係は以下の通りです。

BISのバージョン	必要なモジュール		
	①	②	③
2013Winter以前	×	×	○
2014Spring以降	○	○	×

システム要件

intra-mart Accel Platformで利用するOpenRulesモジュールに関するシステム要件は次の通りです。

OpenRulesモジュールが対応するサポートバージョン

- OpenRules 7.0.0

intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2015 Winter以降のご利用のバージョン に準じます。

サーバ要件

- 利用する intra-mart Accel Platform 2015 Winter以降のご利用のバージョンのサーバ要件に準じます。

ライセンス要件

種別	ライセンス
プラットフォーム	intra-mart Accel Platform [Advanced Edition] または、カスタマーサクセスライセンス向けの [Advance Edition]、[Professional Edition]

検証済み環境

- 以下、弊社動作検証済みの intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせです。

サーバ環境

- intra-mart Accel Platform 2019 Spring の検証済みサーバ環境に準じます。

クライアント環境

- intra-mart Accel Platform 2019 Spring の検証済みクライアント環境に準じます。

サードパーティ ライセンス一覧

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
Apache POI	3.10	ASL	http://poi.apache.org/ (English)

制限事項

IM-BIS と OpenRules を連携して利用する場合、使用できる構文（シンタックス）には制限があります。

- IM-BIS と OpenRules を連携して利用する場合、構文（シンタックス）の「Rules」を使用することはできません。

OpenRules で作成したビジネスルールをデータソース定義として登録する場合、同じ名前のファイルを複数回アップロードすることはできません。

- OpenRules で作成したビジネスルールをデータソース定義として登録する場合、1つのデータソース定義に対して同じ名前の設定ファイルを複数回アップロードすることはできません。ビジネスルールの設定内容の変更など、一度データソース定義として登録後に同じ名前の設定ファイルをアップロードしたい場合には、登録済みのファイルを削除してからアップロードするようにしてください。

IM-BIS と Rule Solver を連携して使用する場合、利用できる結果返却モードには制限があります。

- IM-BIS と Rule Solver を連携して使用する場合、利用できる結果返却モードは以下のみです。
 - Find a Solution（1つだけ解を求める）

著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

OpenRules は、OpenRules inc. 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上